

平成22年度 第2回

杉並区インターネット区民アンケート  
集計結果報告書

「区民による行政評価」について



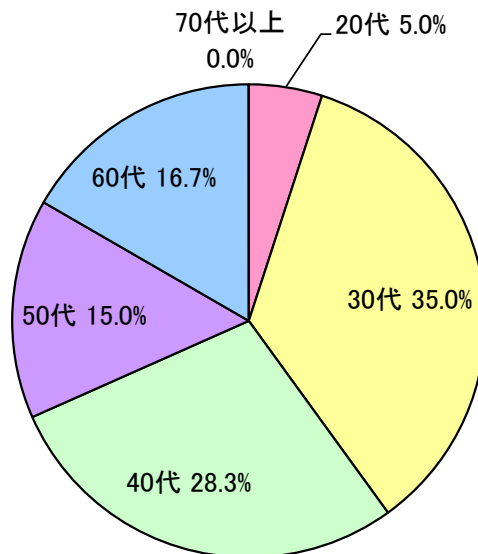
平成22年8月実施

杉並区政策経営部区長室区政相談課

## 調査の概要

- 1 調査の目的 区民の方々が区の事業に対してどのような評価をしているのかを把握し、今後の区事業の見直し、改善に活かすために実施しました。
- 2 調査の内容 「区民による行政評価」について
- 3 調査期間 平成22年8月13日～31日
- 4 回答者数 60人
- 5 回答者構成 単位:人

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
男性	0	1	3	9	4	7	0	24
女性	0	2	18	8	5	3	0	36
合計	0	3	21	17	9	10	0	60



## 6 集計・分析にあたって

- (1) 各項の初めにあるNは、回答者数を表している。
- (2) 百分率は、小数第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。
- (3) その他の意見と設問10の自由意見は、要約を掲載しました。

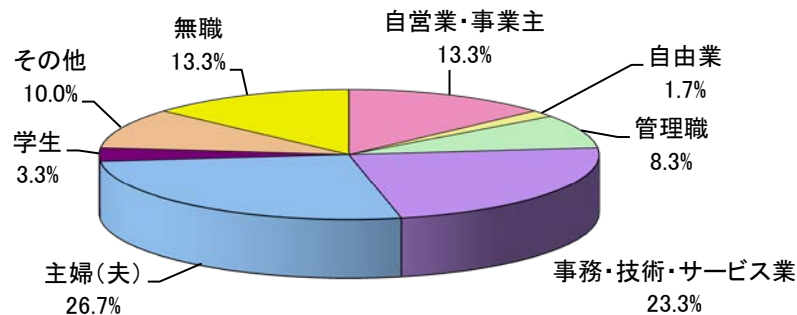
# 区民による行政評価について

設問1及び2は調査の概要に掲載済み

設問3 あなたの職業をお答えください。

N= 60

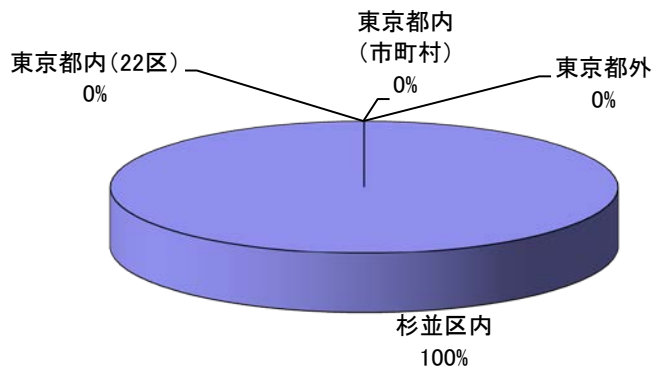
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 自営業・事業主	8	13.3%	男性	7		6	1	
			女性	1		1		
② 自由業	1	1.7%	男性	0				
			女性	1		1		
③ 管理職	5	8.3%	男性	5		3	2	
			女性	0				
④ 事務・技術・サービス業	14	23.3%	男性	2		2		
			女性	12	1	9	2	
⑤ 主婦(夫)	16	26.7%	男性	0				
			女性	16		11	5	
⑥ 学生	2	3.3%	男性	1	1			
			女性	1	1			
⑦ その他	6	10.0%	男性	2			2	
			女性	4		4		
⑧ 無職	8	13.3%	男性	7		1	6	
			女性	1			1	



設問4 あなたはどちらにお住まいですか。

N= 60

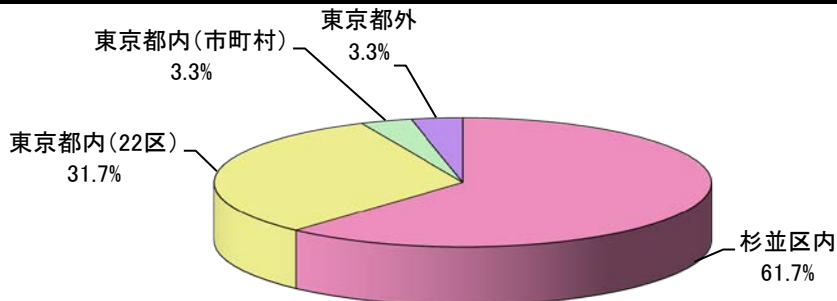
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 杉並区内	60	100.0%	男性	24	1	12	11	
			女性	36	2	26	8	
② 東京都内(22区)	0	0.0%	男性					
			女性					
③ 東京都内(市町村)	0	0.0%	男性					
			女性					
④ 東京都外	0	0.0%	男性					
			女性					



設問5 あなたのお勤め先や学校は次のどれですか。

N = 60

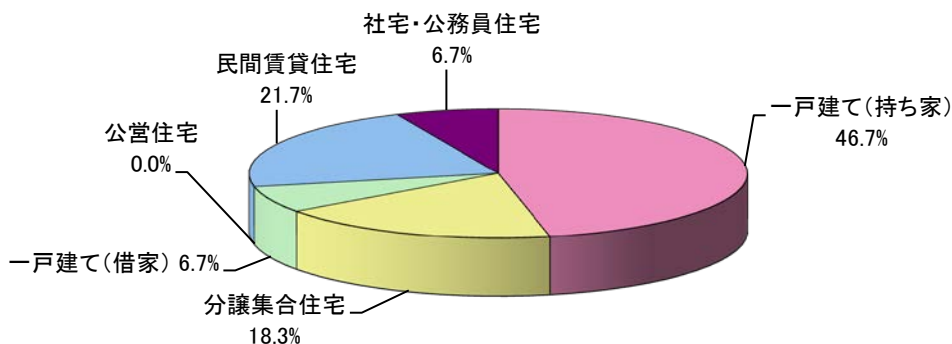
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 杉並区内	37	61.7%	男性	16			9	7
			女性	21			15	6
② 東京都内(22区)	19	31.7%	男性	5			3	2
			女性	14	2	10	2	
③ 東京都内(市町村)	2	3.3%	男性	1	1			
			女性	1		1		
④ 東京都外	2	3.3%	男性	2			2	
			女性	0				



設問6 あなたのお住まいは次のどれですか。

N = 60

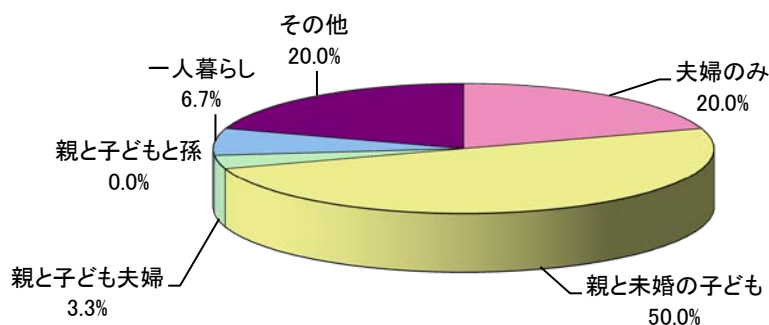
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 一戸建て(持ち家)	28	46.7%	男性	11	1	4	6	
			女性	17	1	11	5	
② 分譲集合住宅	11	18.3%	男性	5		3	2	
			女性	6		4	2	
③ 一戸建て(借家)	4	6.7%	男性	2		1	1	
			女性	2		2		
④ 公営住宅	0	0.0%	男性	0				
			女性	0				
⑤ 民間賃貸住宅	13	21.7%	男性	5		4	1	
			女性	8	1	6	1	
⑥ 社宅・公務員住宅	4	6.7%	男性	1			1	
			女性	3		3		



設問7 あなたのお宅の家族構成は次のどれですか。

N = 60

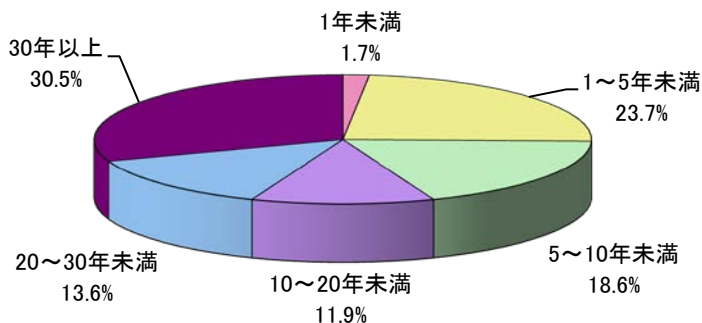
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 夫婦のみ	12	20.0%	男性	4		1	3	
			女性	8		4	4	
② 親と未婚の子ども	30	50.0%	男性	10		5	5	
			女性	20		16	4	
③ 親と子ども夫婦	2	3.3%	男性	1		1		
			女性	1		1		
④ 親と子どもと孫	0	0.0%	男性	0				
			女性	0				
⑤ 一人暮らし	4	6.7%	男性	2		1	1	
			女性	2	1	1		
⑥ その他	12	20.0%	男性	7	1	4	2	
			女性	5	1	4		



設問8 杉並区にお住まいの方にお尋ねします。杉並区にお住まいになって何年ですか。

N = 59

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 1年未満	1	1.7%	男性	0				
			女性	1		1		
② 1～5年未満	14	23.7%	男性	6		4	2	
			女性	8	1	6	1	
③ 5～10年未満	11	18.6%	男性	4		3	1	
			女性	7		5	2	
④ 10～20年未満	7	11.9%	男性	1		1		
			女性	6	1	5		
⑤ 20～30年未満	8	13.6%	男性	5	1	2	2	
			女性	3		2	1	
⑥ 30年以上	18	30.5%	男性	8		2	6	
			女性	10		7	3	



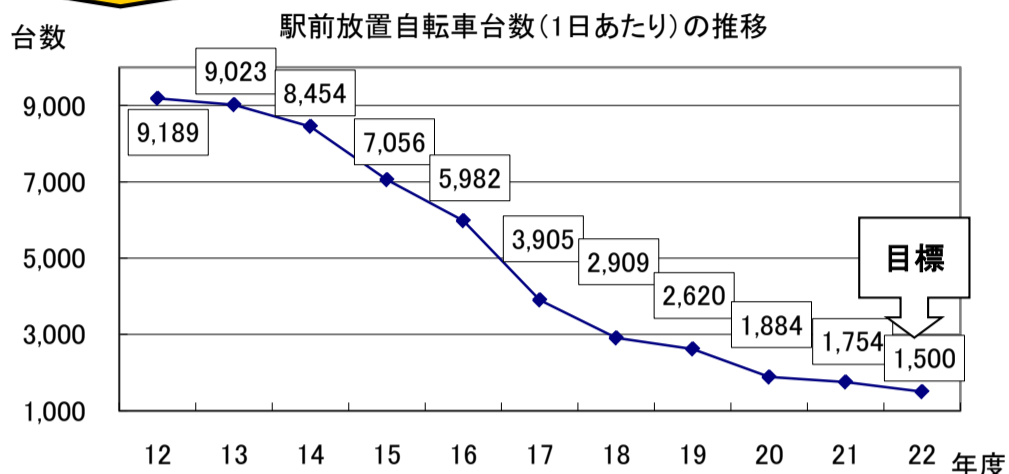
目的と概要

安全・安心な生活環境を実現するために駅周辺の放置自転車の問題に取り組んでいます。自転車は手軽で身近な乗り物であり、環境にやさしい移動手段として認められています。自転車利用を促進するためにも自転車駐車を整備し、放置自転車の解消を目指しています。放置自転車台数については、平成15年度の7,056台から70%削減し、平成22年度までに2,100台以下とすることを目指して各施策に取り組んできました。その結果、放置自転車台数は平成21年度に1,884台となり、目標を達成しました。そこで、改めて平成22年度までに1,500台以下とする数値目標を掲げています。

1 目標

駅前放置自転車を  
平成22年度に1,500台に減少させます

2 成果

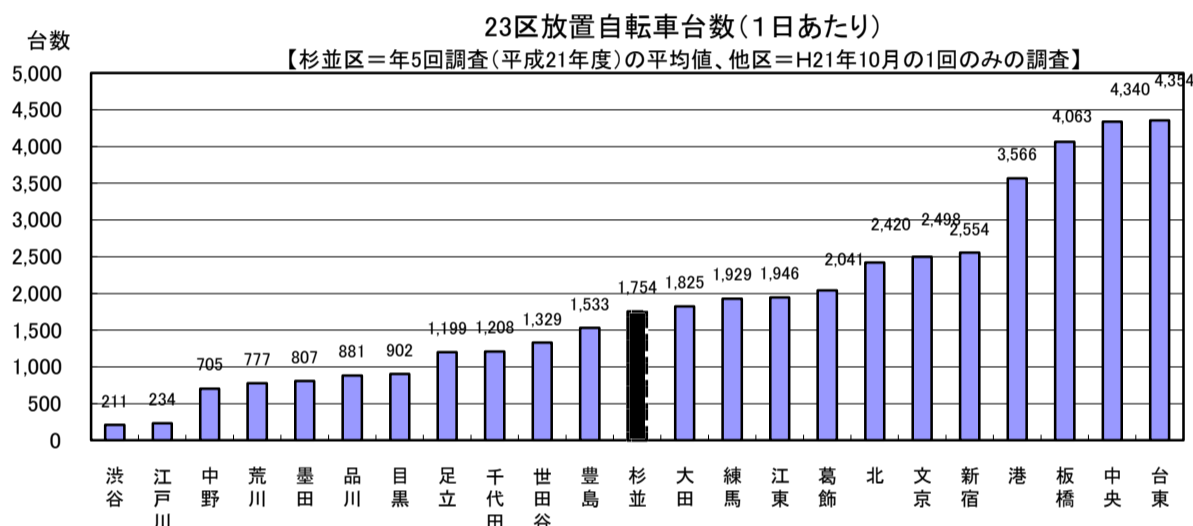


駅前放置自転車台数とは、区内各駅の放置禁止区域内に放置された台数です(年5回調査の平均値)。

平成21年度は、前年度の1,884台から1,754台へと減少しました。これは、区内全域において、放置防止指導から撤去・返還業務まで一貫した放置防止対策の強化を図ったことや18駅で活動する自転車放置防止協力員等による「放置防止キャンペーン」などの啓発活動の効果といえます。

一方、午後から夕方にかけて買い物客の放置自転車が目立つようになってきており、買い物客の放置自転車対策が課題となっております。

23区の放置自転車台数をみると、杉並区は少ない方から数えて12番目です。



3 かった

平成21年度にこの施策にかかった費用は、人件費と事業費を合わせて、約10億5千万円でした。大きな支出としては、自転車駐車場の運営経費として7億1千万円、自転車の放置防止啓発や放置自転車の撤去・返還・処分などに2億7千万円です。

また収入としては、自転車駐車場使用料が6億3千万円、撤去手数料が8千9百万円、撤去自転車の売却代金が1千2百万円など、合計で約7億4千万円となりました。

この結果、この事業にかかる区民1人あたりの経費は1,942円ですが、使用料・手数料等の収入を差し引いた後の、実質負担額では区民1人あたり569円となっております。

区民一人あたりの額

この事業 1,942円  
区の全ての事業 40万5千円

4 事業

<平成21年度に実施した主な事業>

番号	事業名(活動指標)	数量	内容
1	有料制自転車駐車場の運営をしました	40箇所	東高円寺自転車駐車を民営化しました。又、上井草北や荻窪南第一自転車駐車場のラック改修の大規模改修などを行いました。
2	放置自転車を撤去しました	46,059台	区内の各駅付近で、延べ2,391回撤去を行いました。
3	自転車放置防止キャンペーンを実施しました	7日間	自転車利用者を対象に、地域の方たちとともに、協力を呼びかけました。

5 自己評価

<これまでの取組>

自転車駐車場の整備に計画的に取り組んだ結果、現在27,174台収容できる駐車場を確保し、駅前の放置自転車台数は着実に減少しています。地域の方々が担い手である放置防止協力員による啓発活動も大きな要因となっていると考えられます。また、鉄道事業者へ自転車駐車場の設置を求め、平成21年度には西荻窪駅に民営駐輪場が整備されました。

<今後の方向性>

【拡充】

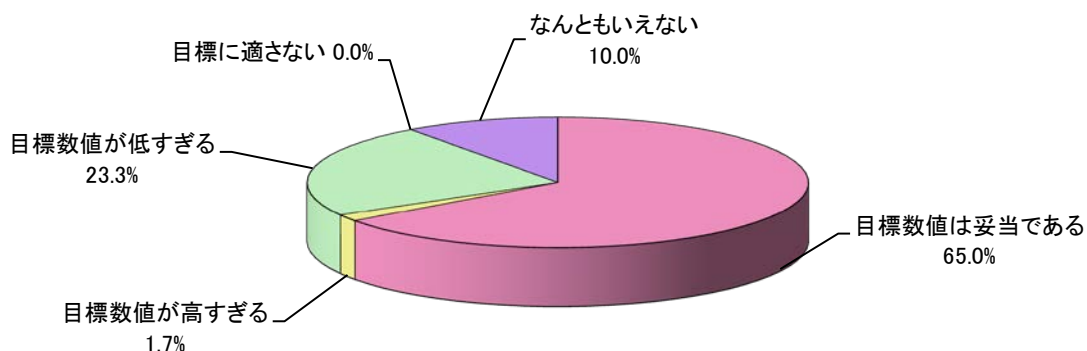
平成10年度に策定した「杉並区自転車利用総合計画」を平成21年11月に改定しました。この計画に基づいて、区民、事業者、区が一体となって、放置自転車対策、自転車駐車場の整備などの目標を着実に達成し、安全で快適な自転車のまちづくりを実現していきます。

自転車駐車場については、駐車場未整備の駅周辺を重点的に整備します。一方、区主導から民間主導による駐車場整備へとシフトしていきます。

問9から問13までは、資料1「自転車問題の解決」をご覧のうえ、お答えください。  
 設問9 「1.目標」について、どう思いますか。

N = 60

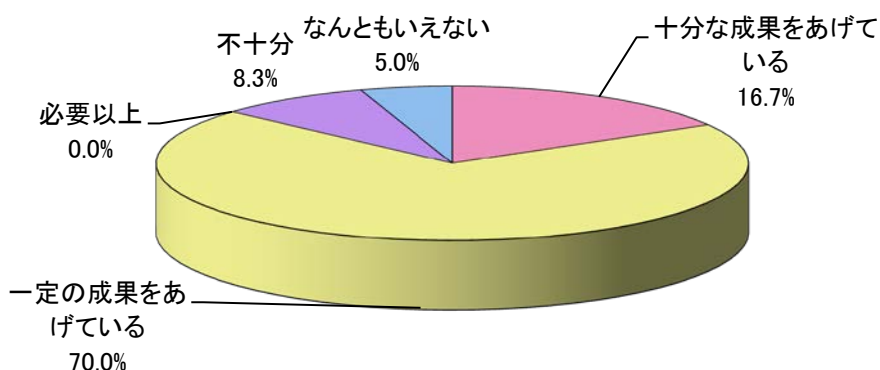
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 目標数値は妥当である	39	65.0%	男性	15		7	8	
			女性	24	1	18	5	
② 目標数値が高すぎる	1	1.7%	男性	1		1		
			女性	0				
③ 目標数値が低すぎる	14	23.3%	男性	7		4	3	
			女性	7		5	2	
④ 目標に適さない	0	0.0%	男性	0				
			女性	0				
⑤ なんともしえない	6	10.0%	男性	1	1			
			女性	5	1	3	1	



設問10 資料1「自転車問題の解決」の「2.成果」について、どう思いますか。

N = 60

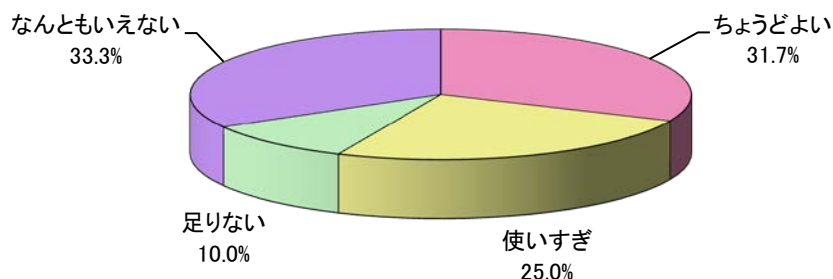
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 十分な成果をあげている	10	16.7%	男性	3		1	2	
			女性	7	1	6		
② 一定の成果をあげている (もう少し)	42	70.0%	男性	18	1	9	8	
			女性	24	1	16	7	
③ 必要以上(やりすぎ)	0	0.0%	男性	0				
			女性	0				
④ 不十分	5	8.3%	男性	3		2	1	
			女性	2		2		
⑤ なんともしえない	3	5.0%	男性	0				
			女性	3		2	1	



設問11 資料1「自転車問題の解決」の「3.かかった経費」について、どう思いますか。

N = 60

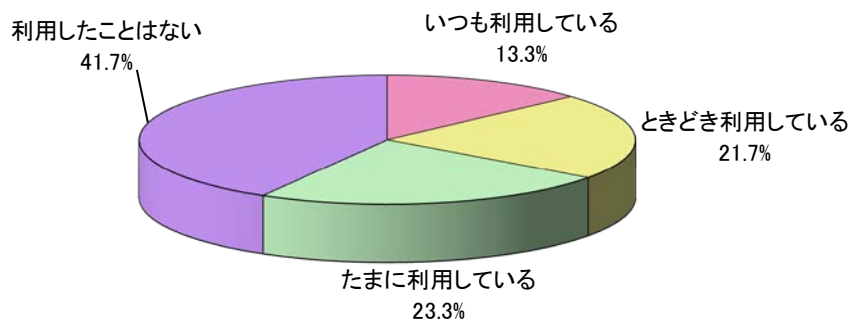
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① ちょうどよい	19	31.7%	男性	10		6	4	
			女性	9		7	2	
② 使いすぎ	15	25.0%	男性	3		2	1	
			女性	12	1	10	1	
③ 足りない	6	10.0%	男性	3		2	1	
			女性	3		2	1	
④ なんともいえない	20	33.3%	男性	8	1	2	5	
			女性	12	1	7	4	



設問12 自転車駐車を利用したことがありますか。

N = 60

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① いつも利用している	8	13.3%	男性	3		1	2	
			女性	5		5		
② ときどき利用している	13	21.7%	男性	6	1	3	2	
			女性	7		5	2	
③ たまに利用している	14	23.3%	男性	3		1	2	
			女性	11		7	4	
④ 利用したことはない	25	41.7%	男性	12		7	5	
			女性	13	2	9	2	

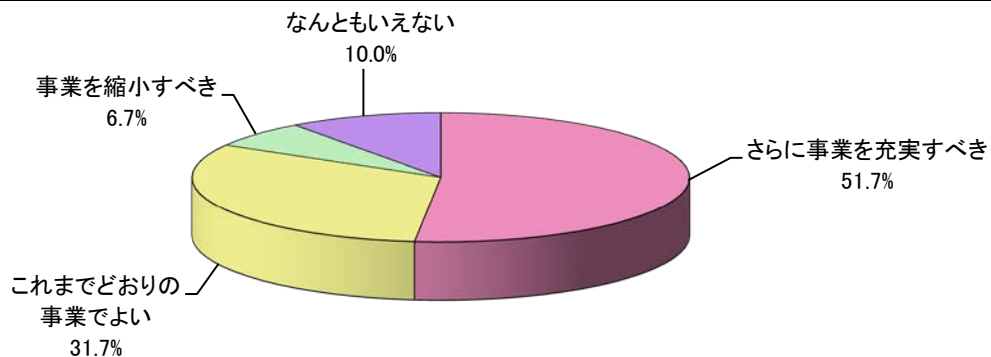




設問13 資料1「自転車問題の解決」の「5.自己評価」にある方向性について、どう思いますか。

N= 60

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① さらに事業を充実すべき	31	51.7%	男性	14		6	8	
			女性	17		11	6	
② これまでどおりの事業でよい	19	31.7%	男性	8	1	5	2	
			女性	11		9	2	
③ 事業を縮小すべき	4	6.7%	男性	1			1	
			女性	3	1	2		
④ なんともいえない	6	10.0%	男性	1		1		
			女性	5	1	4		



## No.2 ごみの発生抑制及びリサイクルの推進

### 目的と概要

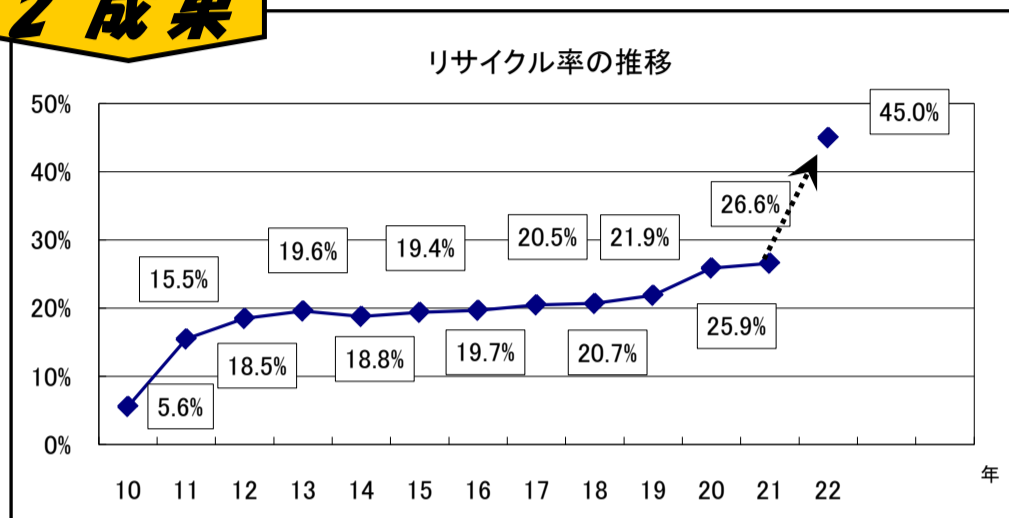
区では、平成20年3月に策定した一般廃棄物処理基本計画の実現に向け、短期目標として平成22年度には家庭ごみを一人1日あたり430グラム（平成18年度649グラム）にするとともに、ごみの分別を徹底しリサイクル率を45%（平成18年度20.7%）にする、という高い目標を掲げました。

ごみの減量とリサイクル率の向上に向け、区民・事業者・区が協働してごみの発生抑制や再使用、再生利用を推進していきます。また区は、そのための具体的な仕組みづくりを行っていきます。

### 1 目標

リサイクル率を平成22年度に45%にします

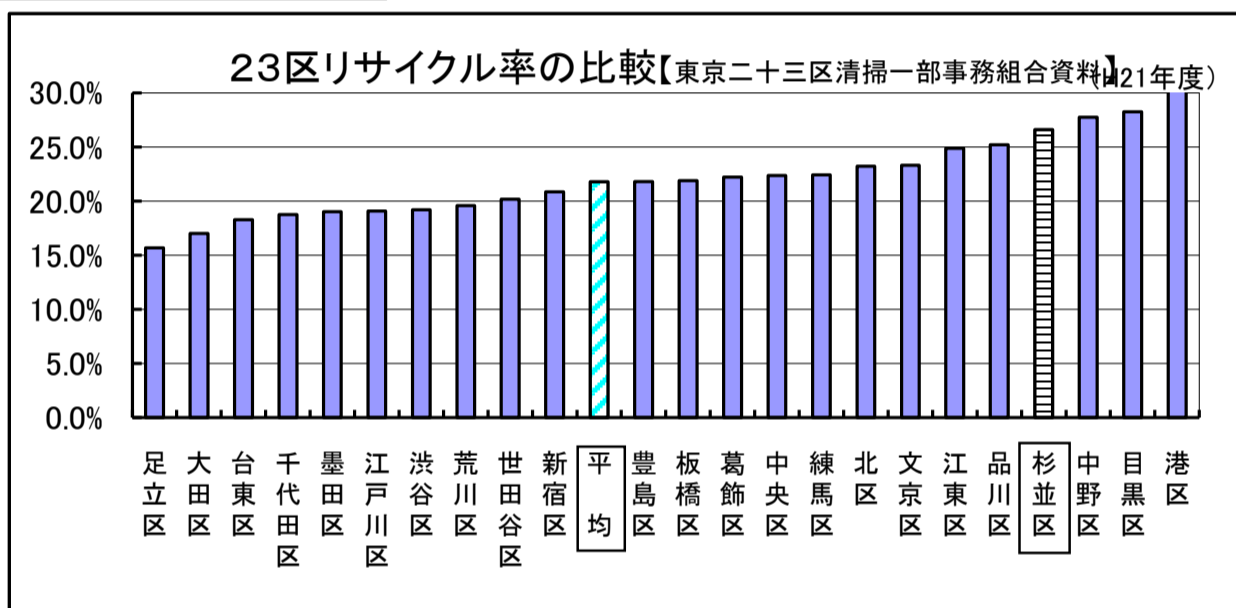
### 2 成果



リサイクル率とは、排出されるごみ量に占める、古紙やびん・缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装が資源物として排出されている割合です。

杉並区のごみ量は、平成2年度以降減少傾向にあります。しかし今後、東京23区では、新たな最終処分場を確保することは困難な状況です。ごみ問題の解決は依然として大きな課題であり、より一層のごみの減量、リサイクルの推進が求められています。

杉並区のリサイクル率は、23区の中では4番目の順位です。23区平均よりも高い割合で、区民のリサイクルに対する意識の高さが数値として現れています。



### 3 かかった

平成21年度の「ごみの発生抑制及びリサイクルの推進」にかかった費用は、人件費と事業費を合わせ約25億7千万円でした。

事業に占める人件費の比率は、19年度17.4%、20年度12.6%、21年度13.9%となっております。

リサイクル率は着実に伸びて、20年度には25%を超えました。今後も、コストを抑制しながらリサイクルを推進します。

#### 区民一人あたりの額

この事業 4,755円  
全ての事業 40万5千円

### 4 事業

<平成21年度に実施した主な事業>

番号	事業名（活動指標）	数量	内容
1	資源の回収(区の回収、集団回収)を実施しました。	39,588 t	資源回収量は平成20年度に比べ、1.9%増加しました。
2	レジ袋有料化等の取組を推進しました。	-	マイバックキャンペーンやコンビニエンスストアにレジ袋不要カードを置くなどの取組を行いました。
3	プラスチック製容器包装のリサイクルを進めました。	4,573 t	プラスチック製容器包装の回収を区内全域で実施しました。

### 5 自己評価

<これまでの取組>

ごみ量は、ごみの分別の徹底や資源化の推進などにより減少しています。平成20年度からサーマルリサイクルの実施にあわせ、プラスチック製容器包装やペットボトルを「資源」として収集したことにより、家庭ごみの減量に大きく寄与しました。

また、マイバックキャンペーンやコンビニエンスストアにレジ袋不要カードを置くなど、レジ袋の削減に取り組みました。

<今後の方向性>

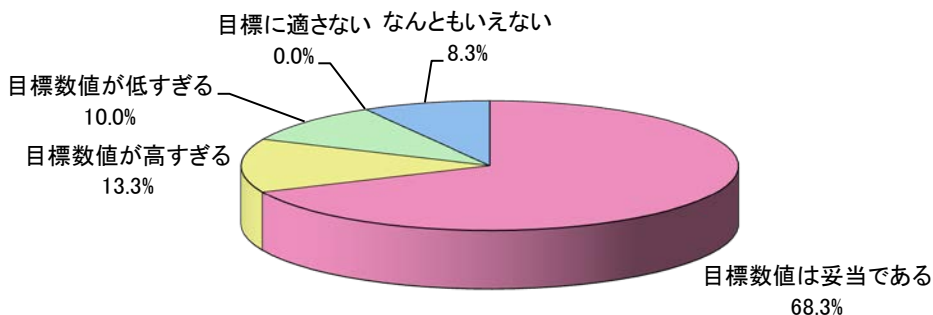
【拡充】

ごみを限りなくゼロにする社会の構築には、リサイクル率の向上が不可欠です。そのためには、ごみ、資源の分別の徹底を図り、さらなるリサイクル率の向上を目指します。課題解決に向けて、清掃情報誌の活用などを通じ普及啓発に努めるとともに、ごみの発生自体を抑えていくように区民・事業者と協働しながら、取り組んでまいります。

問14から問18までは、資料2「ごみの発生抑制及びリサイクルの推進」をご覧のうえ、お答えください。  
 設問14 「1.目標」について、どう思いますか。

N = 60

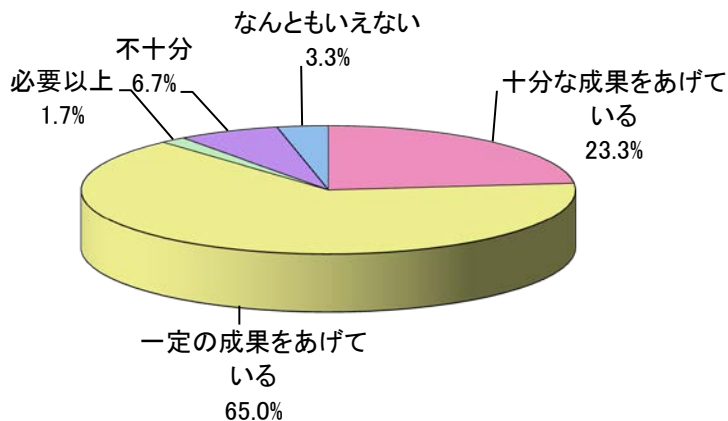
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 目標数値は妥当である	41	68.3%	男性	17	1	8	8	
			女性	24	1	19	4	
② 目標数値が高すぎる	8	13.3%	男性	1		1		
			女性	7		6	1	
③ 目標数値が低すぎる	6	10.0%	男性	4		2	2	
			女性	2	1		1	
④ 目標に適さない	0	0.0%	男性	0				
			女性	0				
⑤ なんともしえない	5	8.3%	男性	2		1	1	
			女性	3		1	2	



設問15 資料2の「2.成果」について、どう思いますか。

N = 60

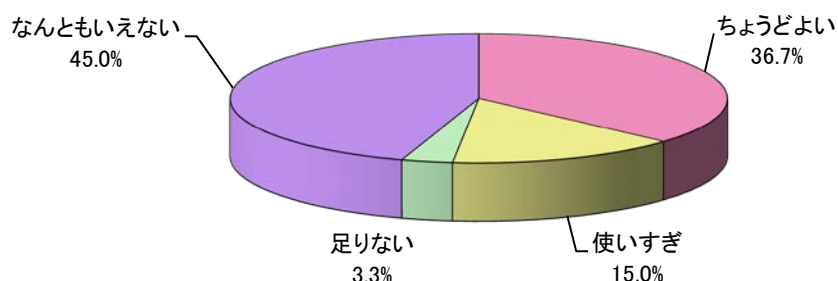
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 十分な成果をあげている	14	23.3%	男性	4	1	2	1	
			女性	10	1	9		
② 一定の成果をあげている (もう少し)	39	65.0%	男性	15		8	7	
			女性	24	1	15	8	
③ 必要以上(やりすぎ)	1	1.7%	男性	0				
			女性	1		1		
④ 不十分	4	6.7%	男性	3		1	2	
			女性	1		1		
⑤ なんともしえない	2	3.3%	男性	2		1	1	
			女性	0				



設問16 資料2の「3.かかった経費」について、どう思いますか。

N = 60

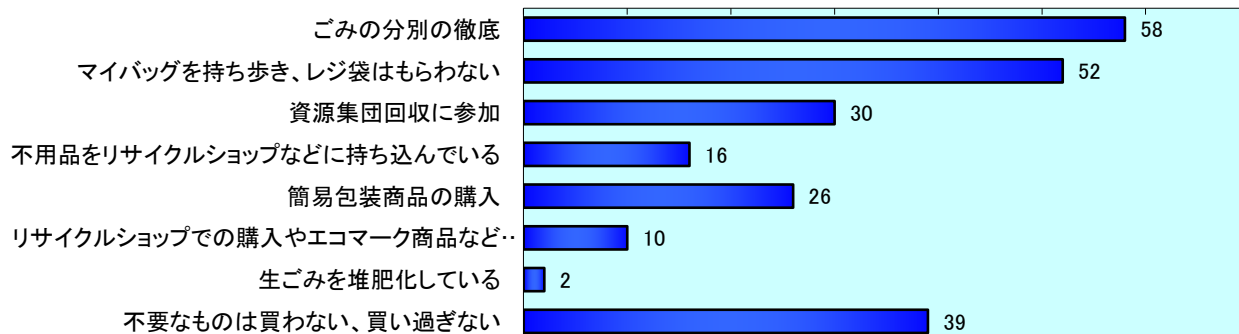
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① ちょうどよい	22	36.7%	男性	9		7	2	
			女性	13	1	9	3	
② 使いすぎ	9	15.0%	男性	2		1	1	
			女性	7		6	1	
③ 足りない	2	3.3%	男性	1			1	
			女性	1			1	
④ なんともしえない	27	45.0%	男性	12	1	4	7	
			女性	15	1	11	3	



設問17 ごみの発生抑制やリサイクルに関連して、あなたが取り組んでいるものはどれですか。該当するもの全てを選択してください。

N = 60

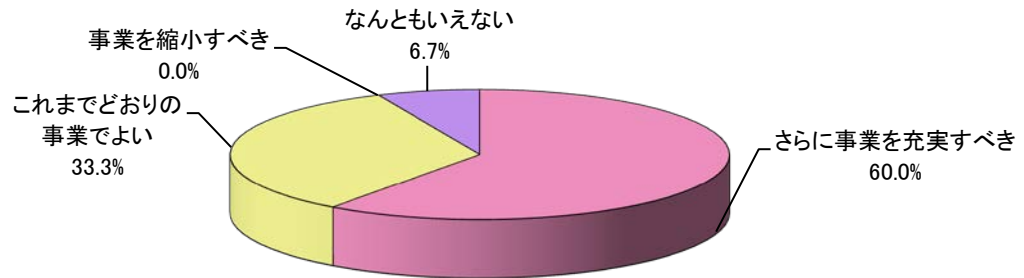
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① ごみの分別の徹底 (可燃・不燃・資源)	58	96.7%	男性	22	1	11	10	
			女性	36	2	26	8	
② マイバッグを持ち歩き、レジ袋はもらわない	52	86.7%	男性	20	1	9	10	
			女性	32		24	8	
③ 資源(缶・ビン・古紙)集団回収に参加	30	50.0%	男性	7		3	4	
			女性	23		17	6	
④ 不用品をリサイクルショップなどにも持ち込んでいる	16	26.7%	男性	4		2	2	
			女性	12		9	3	
⑤ 簡易包装商品の購入	26	43.3%	男性	7		5	2	
			女性	19		12	7	
⑥ リサイクルショップでの購入やエコマーク商品などの購入	10	16.7%	男性	4		3	1	
			女性	6	1	5		
⑦ 生ごみを堆肥化している	2	3.3%	男性	1			1	
			女性	1			1	
⑧ 不要なものを買わない、買い過ぎない	39	65.0%	男性	13		6	7	
			女性	26	2	18	6	



設問18 資料2の「5.自己評価」にある方向性について、どう思いますか。

N= 60

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① さらに事業を充実すべき	36	60.0%	男性	16		9	7	
			女性	20	2	11	7	
② これまでどおりの事業でよい	20	33.3%	男性	7	1	3	3	
			女性	13		12	1	
③ 事業を縮小すべき	0	0.0%	男性	0				
			女性	0				
④ なんともいえない	4	6.7%	男性	1			1	
			女性	3		3		



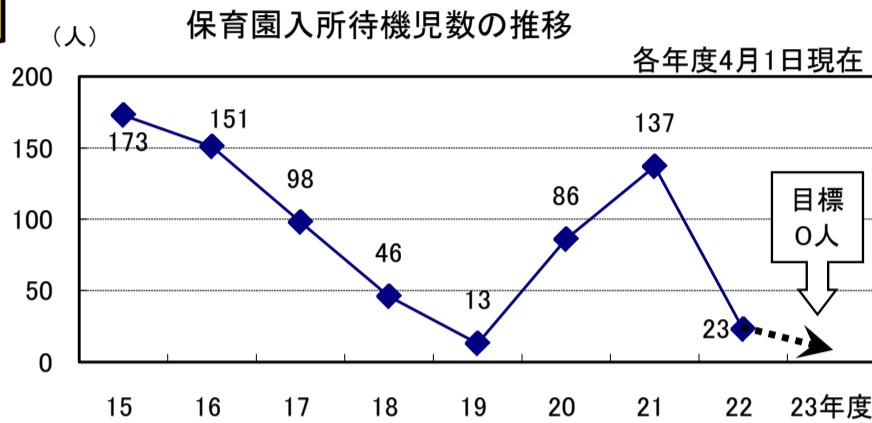
目的と概要

平成21年4月の認可保育園への入園申込者が大幅に増加したことから、区では保育園改築に伴う定員拡大や認証保育所拡充等の対策に加え区独自の保育室を平成21年4月以降順次整備するなどの緊急対策を実施したほか、待機児を解消し待機児童ゼロ状態を安定的に継続していくため、区の保育施設整備計画(平成22年度～平成25年度)として『保育に関する安全・安心プラン』を策定しました。また、延長保育、病児・病後児保育など、多様な保育ニーズに応じたサービスを提供するとともに、在籍している乳幼児の健全な心身の発達を図るためのきめ細やかな支援にも取り組んでいます。

1 目標

保育園入所待機児ゼロ状態を安定的に継続させます

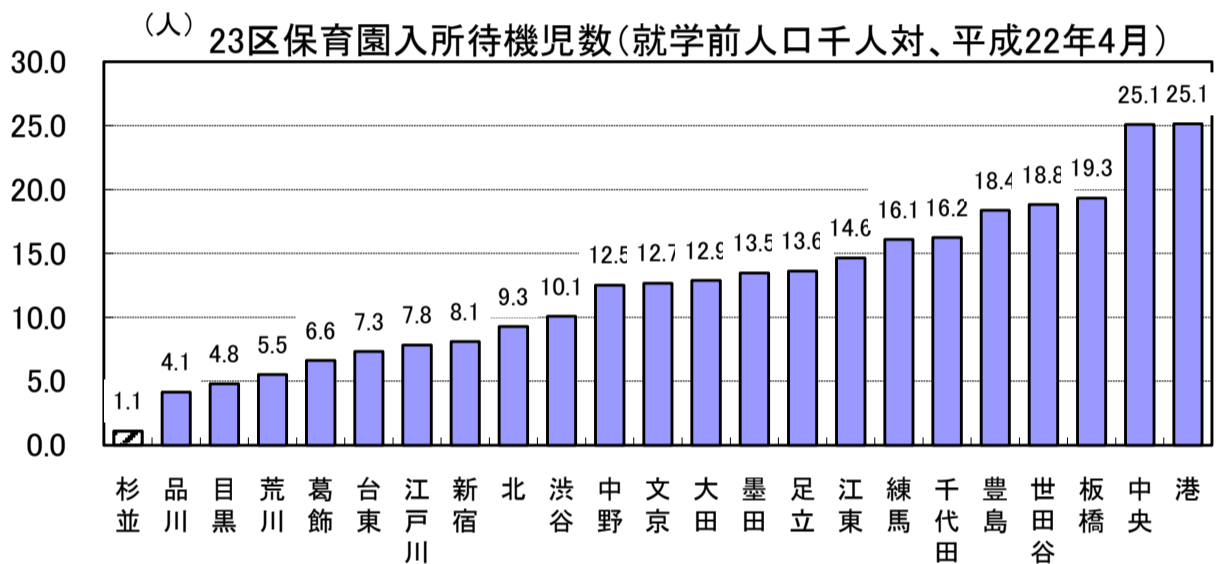
2 成果



経済状況の変化や就労形態の多様化等に伴い保育需要が急増したため、ここ数年待機児童数が増加していましたが、園舎改築に伴う定員拡大(30人)、既存保育園の受入増(57人)、認証保育所の開設(105人)等の対策に加え、緊急対策として区独自の保育室13所(349人)を迅速に整備したことにより、平成22年4月の待機児童数は、前年の137人から23区で最も少ない23人へと大幅に減少しました。

待機児童数を子どもの人口の比率で見ても、平成22年4月時点で千人あたり1.1人と、23区中最も少ない数となっています。

区では、将来にわたって待機児の出ない安心な保育環境を創出するため、区の保育施設整備計画(平成22年度～平成25年度)として『保育に関する安全・安心プラン』を策定しました。今後、プランに基づき、認可保育所の新設等により、総合的に保育受入定員の整備を図っていきます。



3 かかった

平成21年度に公立私立あわせて5,169人の保育園児の保育や、認証保育所の運営、区独自の保育室の緊急整備などにかかった費用は、約132億円でした。このうち人件費は約72億円、事業費は約60億円となっています。

また、歳入としては、保育料12億円、国・都からの補助金7億5千万円などでした。

区民一人あたりの額

この事業 24,386円  
区全ての事業 40万5千円

4 事業

<平成21年度に実施した主な事業>

番号	事業名(活動指標)	数量	内容
1	区独自の保育室の整備を行いました	13所	急増した入園申込みに対応するための緊急対策として、平成21年4月～平成22年4月にかけて13所整備しました。
2	高円寺南保育園の民営化を行いました	1所	高円寺南保育園の指定管理者による保育園運営を開始しました。
3	認証保育所の開設を行いました	2所	平成21年度中に2か所(久我山・西荻窪地域)開所し、定員を105名増やしました。

5 自己評価

<これまでの取組>

平成19年度から平成21年度までの取組は次のとおりです。

- ・公立私立保育園の定員を5,119人から5,169人に増やしました。
- ・認証保育所を5所開設しました。
- ・区立保育園の公設民営化を1園実施しました。
- ・延長保育を実施する園を10園拡充しました。
- ・病児保育事業を開始しました。

<今後の方向性>【拡充】

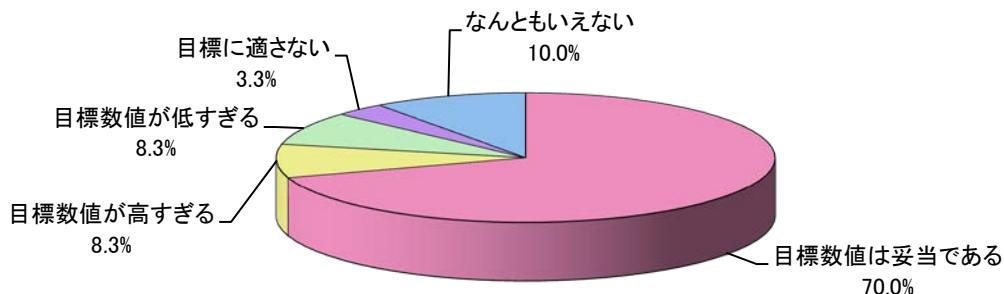
増加が見込まれる保育需要に迅速かつ的確に対応していくため『保育に関する安全・安心プラン』を着実に実行することで待機児解消状態を安定的に継続させていくとともに、民間活力の導入により、施設運営の効率化を図っていきます。

問19から問23までは、資料3「保育の充実」をご覧のうえ、お答えください。

設問19 「1.目標」について、どう思いますか。

N = 60

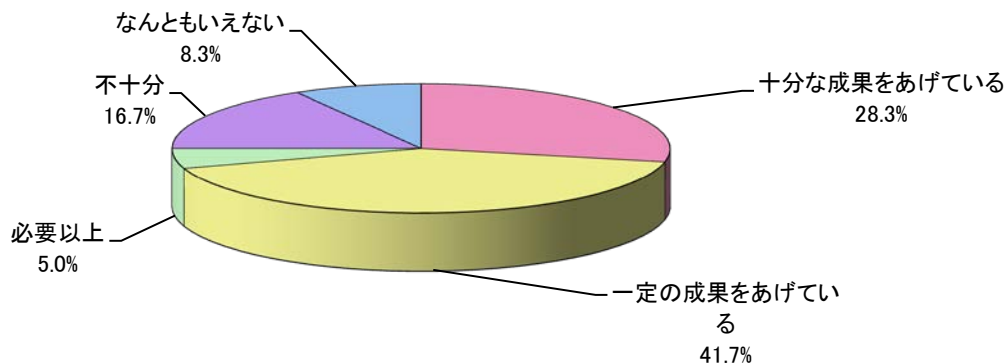
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	数	割合	男性	女性				
① 目標数値は妥当である	42	70.0%	男性	17	1	9	7	
			女性	25	1	17	7	
② 目標数値が高すぎる	5	8.3%	男性	1		1		
			女性	4		3	1	
③ 目標数値が低すぎる	5	8.3%	男性	1			1	
			女性	4	1	3		
④ 目標に適さない	2	3.3%	男性	2		1	1	
			女性	0				
⑤ なんともいえない	6	10.0%	男性	3		1	2	
			女性	3		3		



設問20 資料3の「2.成果」について、どう思いますか。

N = 60

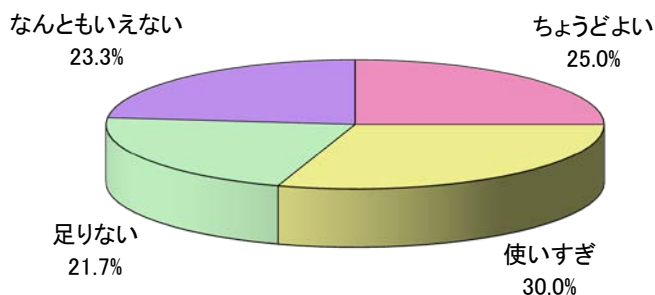
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	数	割合	男性	女性				
① 十分な成果をあげている	17	28.3%	男性	6		4	2	
			女性	11	1	8	2	
② 一定の成果をあげている (もう少し)	25	41.7%	男性	12		6	6	
			女性	13		8	5	
③ 必要以上(やりすぎ)	3	5.0%	男性	1		1		
			女性	2		2		
④ 不十分	10	16.7%	男性	2	1		1	
			女性	8	1	7		
⑤ なんともいえない	5	8.3%	男性	3		1	2	
			女性	2		1	1	



設問21 資料3の「3.かかった経費」について、どう思いますか。

N= 60

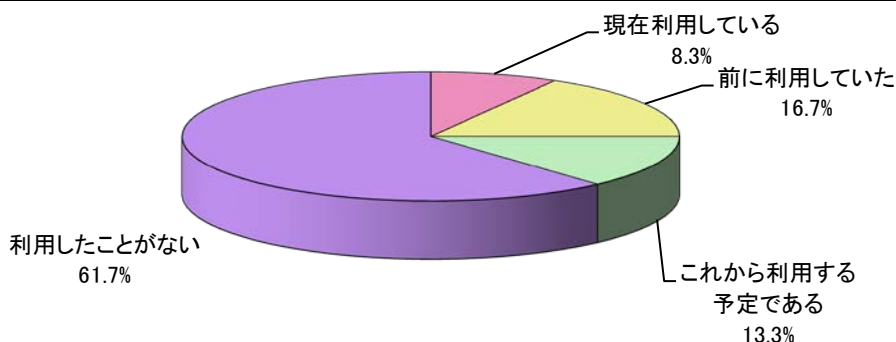
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① ちょうどよい	15	25.0%	男性	6		4	2	
			女性	9		5	4	
② 使いすぎ	18	30.0%	男性	10		5	5	
			女性	8		7	1	
③ 足りない	13	21.7%	男性	5		3	2	
			女性	8	1	7		
④ なんともしえない	14	23.3%	男性	3	1		2	
			女性	11	1	7	3	



設問22 あなた、またはあなたのご家族は保育園を利用していますか。

N= 60

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 現在利用している	5	8.3%	男性	0				
			女性	5	1	4		
② 前に利用していた	10	16.7%	男性	5	1	2	2	
			女性	5	1	3	1	
③ これから利用する予定である	8	13.3%	男性	2		2		
			女性	6		6		
④ 利用したことがない (利用する予定もない)	37	61.7%	男性	17		8	9	
			女性	20		13	7	

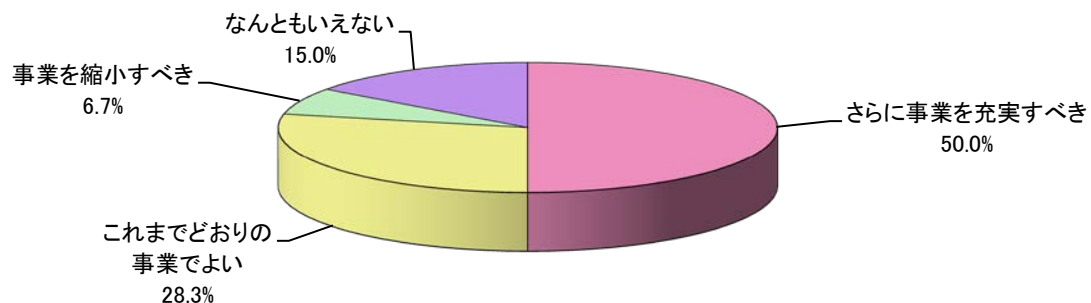




設問23 資料3の「5.自己評価」にある方向性について、どう思いますか。

N = 60

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① さらに事業を充実すべき	30	50.0%	男性	7		4	3	
			女性	23	1	16	6	
② これまでどおりの事業でよい	17	28.3%	男性	10		6	4	
			女性	7		6	1	
③ 事業を縮小すべき	4	6.7%	男性	2		1	1	
			女性	2		2		
④ なんともいえない	9	15.0%	男性	5	1	1	3	
			女性	4	1	2	1	



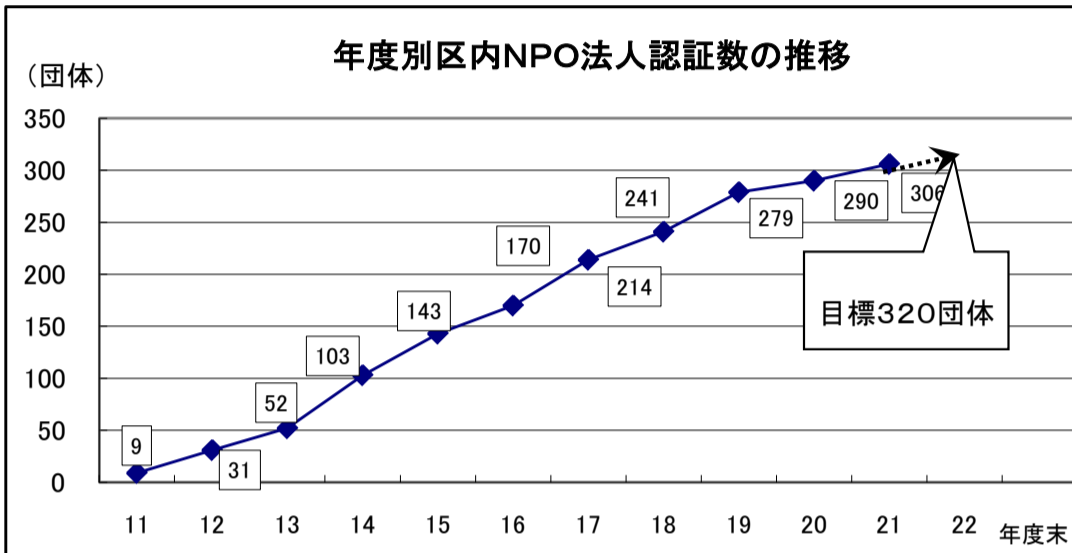
目的と概要

区内では、環境、福祉、教育など多くの分野で公共サービスの創造を得意とするNPO・市民活動団体によって、住民が必要とするサービスを住民自らの手で提供していく活動が広がっています。行政の業務もNPO等と協働することで、より住民ニーズに沿った公共サービスを提供することが可能となりました。今後、団塊の世代の方々を中心に、様々な知識や経験、能力を持った区民の方がより一層地域活動に参加し活躍することが予想されます。NPO等が質の高い公共サービスを担うための人材育成やNPO等の地域活動への新規参入に対する支援の強化を図り、活動しやすい環境の整備と区・NPO等との協働を推進し、豊かで活力ある地域社会を築きます。

1 目標

区内で活動しているNPO法人認証団体を平成22年度までに320団体に増やします

2 成果

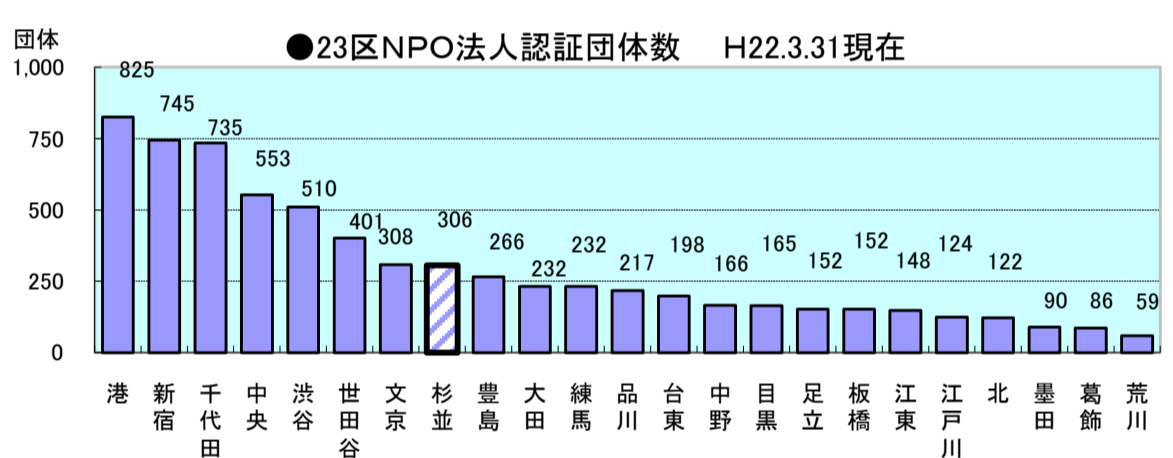


区内NPO法人認証数とは、杉並区内に主たる事務所を持ち、内閣府もしくは東京都の認証を受けている法人の数をいいます。「特定非営利活動法人(NPO法人)」として法人格を付与する「特定非営利活動促進法」は、平成10年12月1日に施行されました。

杉並区では平成11年度末の区内NPO法人はわずか9団体でしたが、その後、年々増加しています。その増加率は、平成11年度末の法人数と比較すると34倍となっており、全国の23倍、東京都の17倍に比べ、大変高くなっています。

NPO法人の認証団体数を23区と比較すると、杉並区は8番目に位置しています。

団体の活動分野としては、17分野のうち、保健・医療・福祉の増進、社会教育の推進を図る分野での活動が多くなっています。



3 かかった

21年度にこの施策にかかった費用は、人件費と事業費を合わせて、約1億1千8百万円でした。支出としては、すぎなみNPO支援センターの維持運営経費3千万円、すぎなみ地域大学運営費2千2百万円でした。また、歳入としては、NPO支援基金への寄附金が187万円で前年と比べて7万円の減となりました。

区民一人あたりの額

この事業 218円  
区の全ての事業 40万5千円

4 事業

<21年度に実施した主な事業>

番号	事業名(活動指標)	数量	内容
1	NPO支援基金の普及啓発を行い寄附を募りました	1,876千円	区内で活動している団体へ活動資金を助成するために、基金の普及啓発と募金活動を区内で行われるイベントで行いました。
2	NPO団体等からの相談を受付けました	2,086件	NPO設立の手続き・NPOの事業運営等活動に関する様々な相談を受付けました。
3	担い手の育成に取り組みました(講座受講者数)	1,159名	講座開講数を20年度31講座から21年度は39講座とし、多様な協働事業の担い手の育成に取り組みました。

5 自己評価

<これまでの取組>

18年度に設置した「すぎなみNPO支援センター」では、NPOの組織運営に関する講座の開催や相談業務などNPO等の組織活動支援を行い、「杉並ボランティア・地域福祉推進センター」では、ボランティア活動の支援を行っています。21年度は、NPO等活動推進協議会に設置した「NPO等活動支援のあり方検討部会」で今後の支援のあり方を検討しました。この検討結果に基づき、22年度のNPO支援センターの運営事業者をプロポーザルで公募し、最も評価の高い事業者を選定しました。

地域活動に必要な知識・技術を学び、仲間を助け、自らが地域社会に貢献するための仕組みとして18年度に開校した「すぎなみ地域大学」は、講座数を当初の12講座から21年度には39講座まで拡充し、区独自資格を付与するための講座を新たに開講するなど、多くの公共の担い手の育成に取り組んでいます。

すぎなみNPO支援センターとすぎなみ地域大学の連携を進めることで、多様な働き手や

<今後の方向性>

【統廃合】

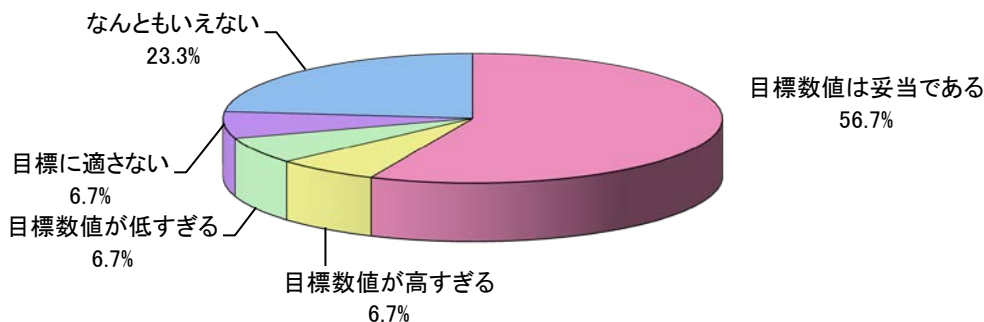
NPO・ボランティアなどの活動が定着する中、今後は、すでに活動しているNPO等がより質の高い活動を展開していくための支援を重点的に進めていきます。また、人材育成から地域活動まで一体的な支援を行っていくため、すぎなみ地域大学とすぎなみNPO支援センターの機能強化と、統合も視野にした組織のあり方を検討します。

NPO等が担う「新たな公共」活動の財政基盤のひとつである杉並区NPO支援基金については、寄附文化の醸成に向けた取り組みを進めていきます。

問24から問28は、資料4「NPO・ボランティアなどが活動しやすい環境整備」をご覧のうえ、お答えください。  
 設問24 「1.目標」について、どう思いますか。

N = 60

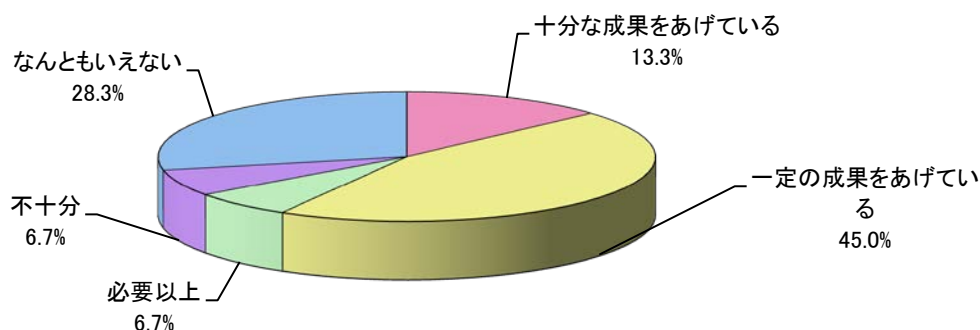
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	数	割合	男性	女性				
① 目標数値は妥当である	34	56.7%	男性	16		10	6	
			女性	18	2	14	2	
② 目標数値が高すぎる	4	6.7%	男性	2	1		1	
			女性	2			2	
③ 目標数値が低すぎる	4	6.7%	男性	2			2	
			女性	2		1	1	
④ 目標に適さない	4	6.7%	男性	2		1	1	
			女性	2		2		
⑤ なんともいえない	14	23.3%	男性	2		1	1	
			女性	12		9	3	



設問25 資料4の「2.成果」について、どう思いますか。

N = 60

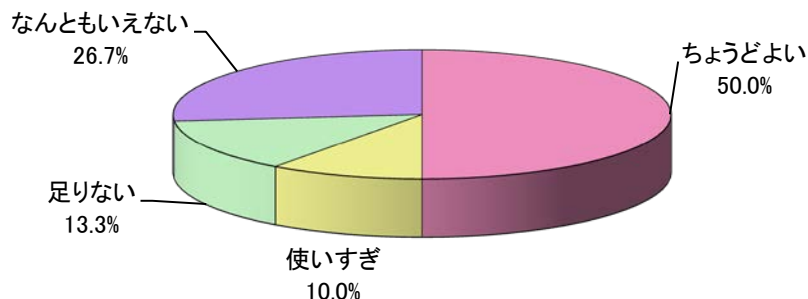
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	数	割合	男性	女性				
① 十分な成果をあげている	8	13.3%	男性	0				
			女性	8	2	6		
② 一定の成果をあげている (もう少し)	27	45.0%	男性	16		8	8	
			女性	11		8	3	
③ 必要以上(やりすぎ)	4	6.7%	男性	3	1	1	1	
			女性	1		1		
④ 不十分	4	6.7%	男性	2		2		
			女性	2		1	1	
⑤ なんともいえない	17	28.3%	男性	3		1	2	
			女性	14		10	4	



設問26 資料4の「3.かかった経費」について、どう思いますか。

N = 60

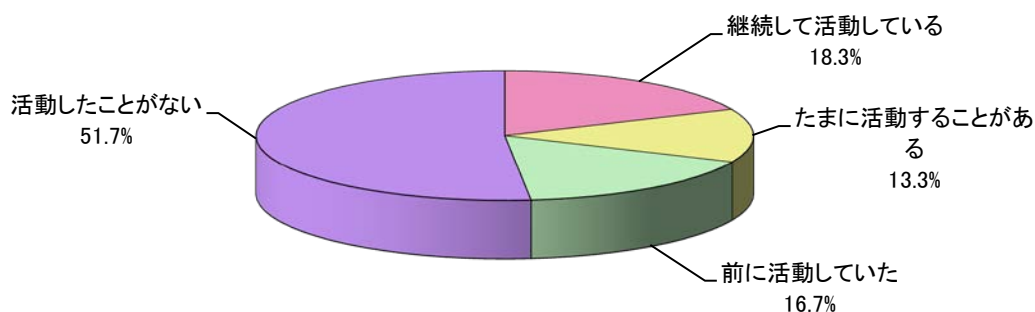
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① ちょうどよい	30	50.0%	男性	11		7	4	
			女性	19	1	16	2	
② 使いすぎ	6	10.0%	男性	3		1	2	
			女性	3		2	1	
③ 足りない	8	13.3%	男性	4		1	3	
			女性	4		2	2	
④ なんともいえない	16	26.7%	男性	6	1	3	2	
			女性	10	1	6	3	



設問27 ボランティアや地域の団体の活動をしていますか。

N = 60

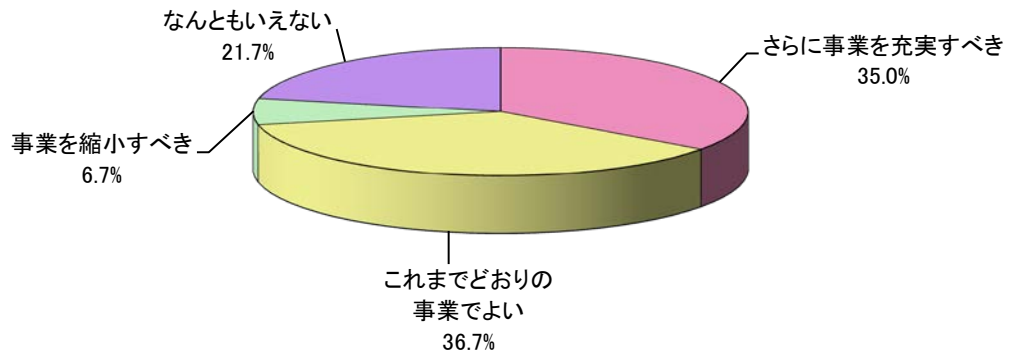
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 継続して活動している	11	18.3%	男性	8		4	4	
			女性	3		1	2	
② たまに活動することがある	8	13.3%	男性	3		2	1	
			女性	5		4	1	
③ 前に活動していた	10	16.7%	男性	2			2	
			女性	8		7	1	
④ 活動したことがない	31	51.7%	男性	11	1	6	4	
			女性	20	2	14	4	



設問28 資料4の「5.自己評価」にある方向性について、どう思いますか。

N= 60

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① さらに事業を充実すべき	21	35.0%	男性	10		5	5	
			女性	11	1	8	2	
② これまでどおりの事業でよい	22	36.7%	男性	8	1	4	3	
			女性	14		11	3	
③ 事業を縮小すべき	4	6.7%	男性	2		1	1	
			女性	2		2		
④ なんともいえない	13	21.7%	男性	4		2	2	
			女性	9	1	5	3	



## No. 5 豊かな学校教育づくり

### 目的と概要

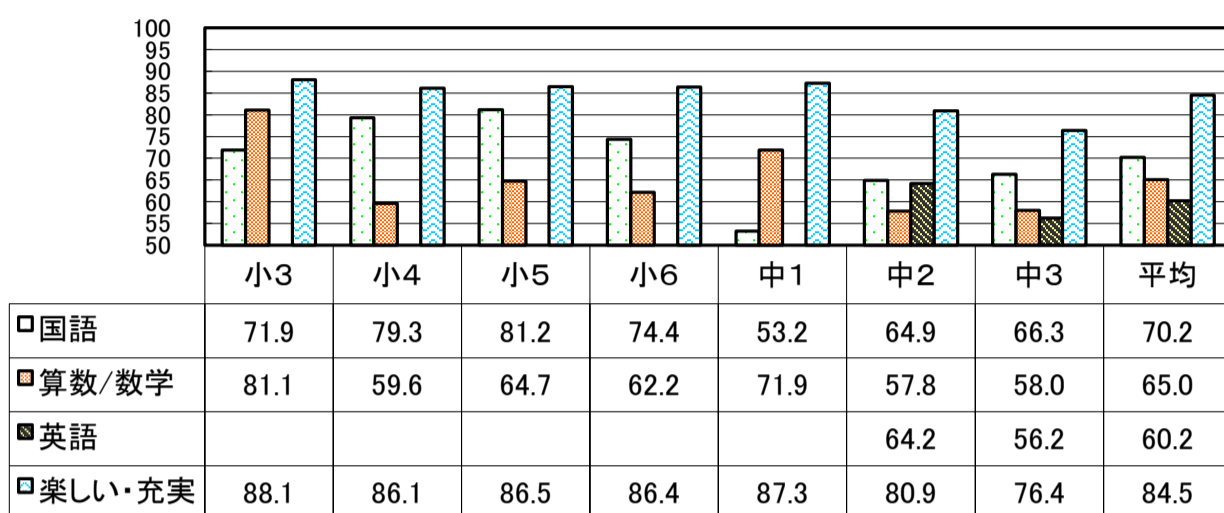
区立小中学校に通う児童・生徒が毎日の学校生活を楽しく過ごせるよう「学ぶ喜び」「生きる感動」「かかわる尊さ」に満ちた魅力ある豊かな学校づくりを推進し、創意工夫ある教育指導により児童・生徒の基礎学力や学習意欲の向上を図っていきます。

### 1 目標

平成22年度までに児童・生徒の学校生活が充実していると感じる割合を86%以上に向上させます

### 2 成果

平成21年度 杉並区立小・中学校学力調査、意識・実態調査の平均正答率と「学校が楽しい・充実している」と感じている児童・生徒の割合



(平均正答率)

小学校の国語は、どの学年も70%を超えています。算数は3年が80%を超えたものの、4年は60%を下回る平均正答率でした。

中学校は、教科ごとに全学年を平均すると国語・数学・英語とも平均正答率は60%程度となります。

※正答率とは、区が実施した学力調査において、児童・生徒が各教科の問題に正解した割合を示しています。グラフ中の「平均」の項目は各学年の正答率を単純に平均した数値です。

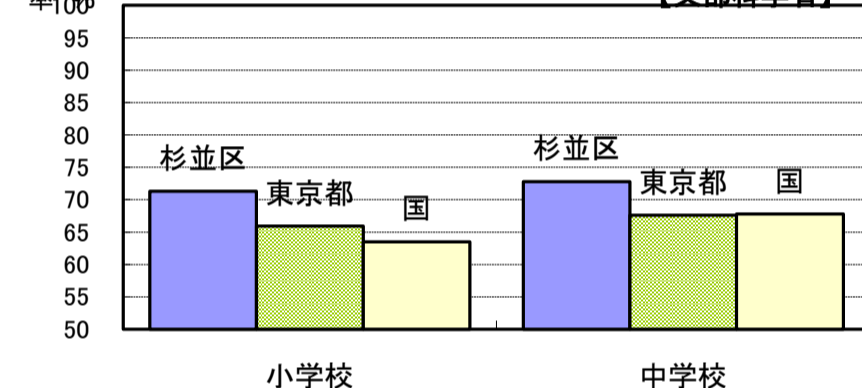
(楽しい・充実していると感じる割合)

中学校3年を除く各学年で80%を超えており、小学校3年から中学校1年までの各学年で、目標値である86%を超える結果となっています。

文部科学省が全国の小学校6年と中学校3年を対象として、国語と算数/数学について実施した「平成21年度 全国学力・学習状況調査」での国(公立)の平均正答率は、小学校が63.5%、中学校は67.8%でした。

杉並区の平均正答率は、小学校が71.3%、中学校は72.8%で、国及び東京都(小学校65.9%、中学校67.6%)の平均正答率を5~8ポイント程度上回っています。

平均正答率100% 平成21年度全国学力・学習状況調査結果【文部科学省】



### 3 かかった

この施策にかかった平成21年度の経費は、人件費と事業費の合計で約18億8百万円でした。主な事業費としては、校庭芝生化工事などエコスクールの推進事業に約5億6百万円、校務システム用(教職員一人一台パソコン)機器賃借、教育用機器賃借など情報教育の推進事業として約4億1千7百万円、小・中学校の移動教室事業として約2億1千2百万円を支出しました。

なお、歳入としては、エコスクールの推進事業等に対して、国や都からの交付金が約2億円ありました。

### 4 事業

<平成21年度に実施した主な事業>

番号	事業名(活動指標)	数量	内容
1	エコスクール化を推進しました	校庭緑化工事 3校 校舎壁面緑化 3校	校庭の芝生化、校舎屋上・壁面の緑化、エコスクール改修を行いました。
2	小学校スクールカウンセラーを派遣しました	相談回数 17,250回	スクールカウンセラー(20名)を各小学校に週1回派遣し、教師・保護者・児童を対象に相談業務を行いました。
3	区独自の学力調査、意識・実態調査を実施しました	17,739人	区立小学校3年から中学校3年までを対象に、学力調査と意識・実態調査を行いました。

区民一人あたりの額

この事業 3,351円

### 5 自己評価

<これまでの取組>

平成21年度は、教育環境の充実をめざした「杉並区立小中学校適正配置計画(永福南小学校と永福小学校の統合)」の策定、「新泉・和泉地区小中一貫教育校設置計画」の策定、特別支援教育推進計画の推進などに取り組みました。また、学校司書や理科支援員の配置等による学校支援の取り組み、魅力ある学校づくりの一環として「合同部活動」の実施、質の高い教育を推進するための「言葉の教育」教材の開発などを行いました。

各種計画の策定や教育ビジョン推進計画に基づく様々な事業の展開、学校経営(運営)への支援や各校が取り組む特色ある教育活動への支援、学力向上や体力向上のための事業、エコスクールの推進や情報教育の推進などによる魅力ある豊かな学校づくりの推進により、上位政策である「魅力ある学校教育」の実現に貢献しています。

<今後の方向性>【サービス増】

社会環境の変化や価値観の多様化、少子化などにより、学校教育や教育行政に対する期待は益々高まっています。

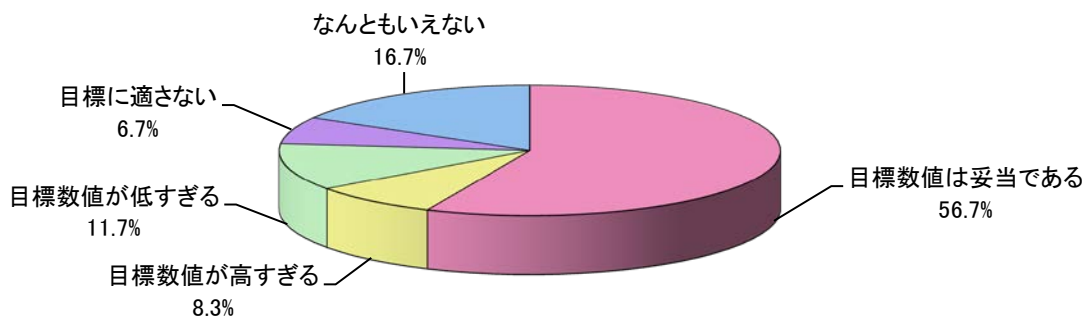
今後は、教育の土台づくりとして小中一貫教育や学校適正配置の推進に関する施策を具体化していきます。児童・生徒が「学ぶ喜び」「生きる感動」「かかわる尊さ」を実感できる「豊かな学校教育づくり」の実現に向け、事業の重点化や経費削減に努めながら、効果的・効率的に事業を進め、サービス水準の向上を図ります。

問29から問33は、資料5「豊かな学校教育づくり」をご覧のうえ、お答えください。

設問29 「1.目標」について、どう思いますか。

N = 60

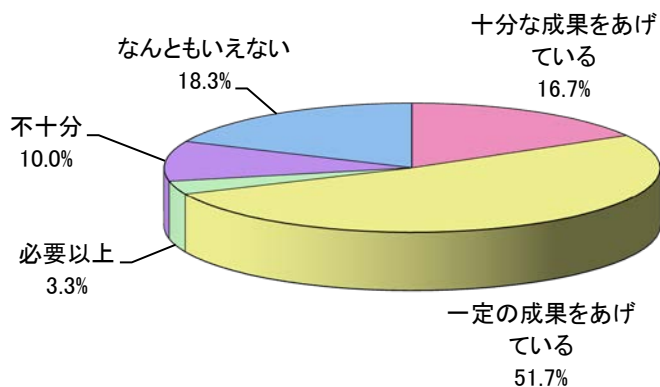
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	数	割合	男性	女性				
① 目標数値は妥当である	34	56.7%	男性	11		5	6	
			女性	23	1	18	4	
② 目標数値が高すぎる	5	8.3%	男性	3	1	2		
			女性	2		1	1	
③ 目標数値が低すぎる	7	11.7%	男性	4		3	1	
			女性	3	1	1	1	
④ 目標に適さない	4	6.7%	男性	2		1	1	
			女性	2		2		
⑤ なんともしえない	10	16.7%	男性	4		1	3	
			女性	6		4	2	



設問30 資料5の「2.成果」について、どのように思いますか。

N = 60

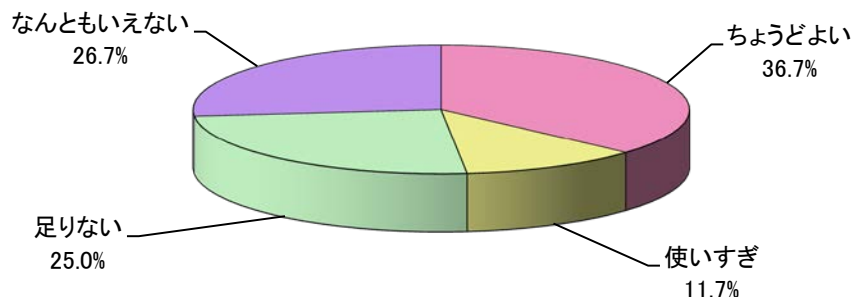
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	数	割合	男性	女性				
① 十分な成果をあげている	10	16.7%	男性	3	1		2	
			女性	7	1	6		
② 一定の成果をあげている (もう少し)	31	51.7%	男性	13		8	5	
			女性	18	1	11	6	
③ 必要以上(やりすぎ)	2	3.3%	男性	1		1		
			女性	1		1		
④ 不十分	6	10.0%	男性	1		1		
			女性	5		4	1	
⑤ なんともしえない	11	18.3%	男性	6		2	4	
			女性	5		4	1	



設問31 資料5の「3.かかった経費」について、どう思いますか。

N = 60

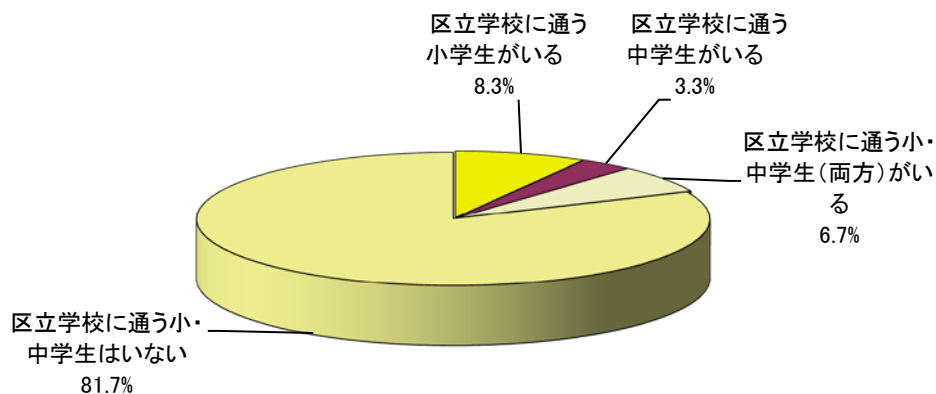
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① ちょうどよい	22	36.7%	男性	8		6	2	
			女性	14		11	3	
② 使いすぎ	7	11.7%	男性	4		3	1	
			女性	3		3		
③ 足りない	15	25.0%	男性	6		2	4	
			女性	9	1	5	3	
④ なんともいえない	16	26.7%	男性	6	1	1	4	
			女性	10	1	7	2	



設問32 あなたのご家族についてお答えください。

N = 60

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 区立学校に通う小学生がいる	5	8.3%	男性	4		3	1	
			女性	1		1		
② 区立学校に通う中学生がいる	2	3.3%	男性	0			1	
			女性	2		1	1	
③ 区立学校に通う小・中学生(両方)がいる	4	6.7%	男性	2			2	
			女性	2		1	1	
④ 区立学校に通う小・中学生はいない	49	81.7%	男性	18	1	9	8	
			女性	31	2	23	6	

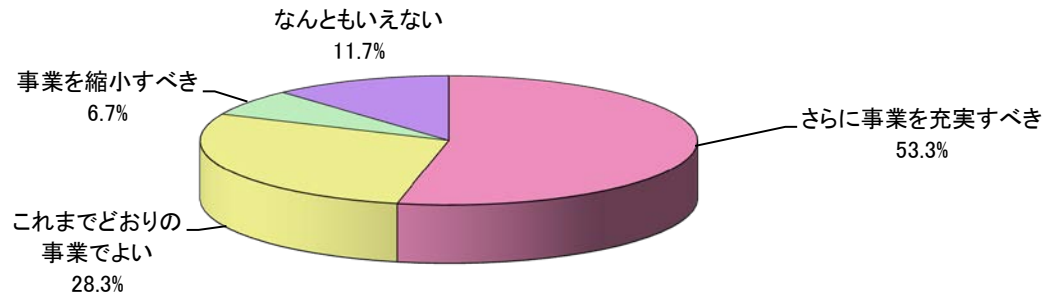




設問33 資料5の「5.自己評価」にある方向性について、どう思いますか。

N = 60

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① さらに事業を充実すべき	32	53.3%	男性	9	2	15	4	
			女性	23				
② これまでどおりの事業でよい	17	28.3%	男性	9	1	3	5	
			女性	8				
③ 事業を縮小すべき	4	6.7%	男性	3		3		
			女性	1				
④ なんともいえない	7	11.7%	男性	3		1	2	
			女性	4				



目的と概要

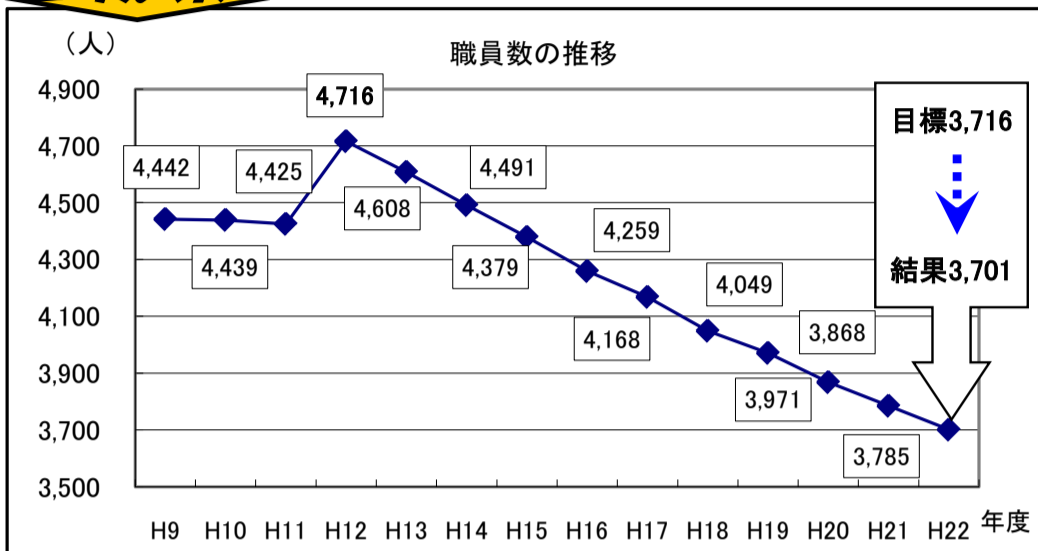
杉並区の将来像を明らかにし、時代や社会の変化に柔軟・機敏に対応しながら、計画性と実効性のある政策形成を行います。また、質の高いサービスを効率的に継続して提供することができるよう、不断の行政改革に取り組むとともに、「小さな区役所で五つ星のサービス」を実現して区民満足度を高めます。

1 目標

職員定数を、平成22年度までに1,000人削減します

2 成果

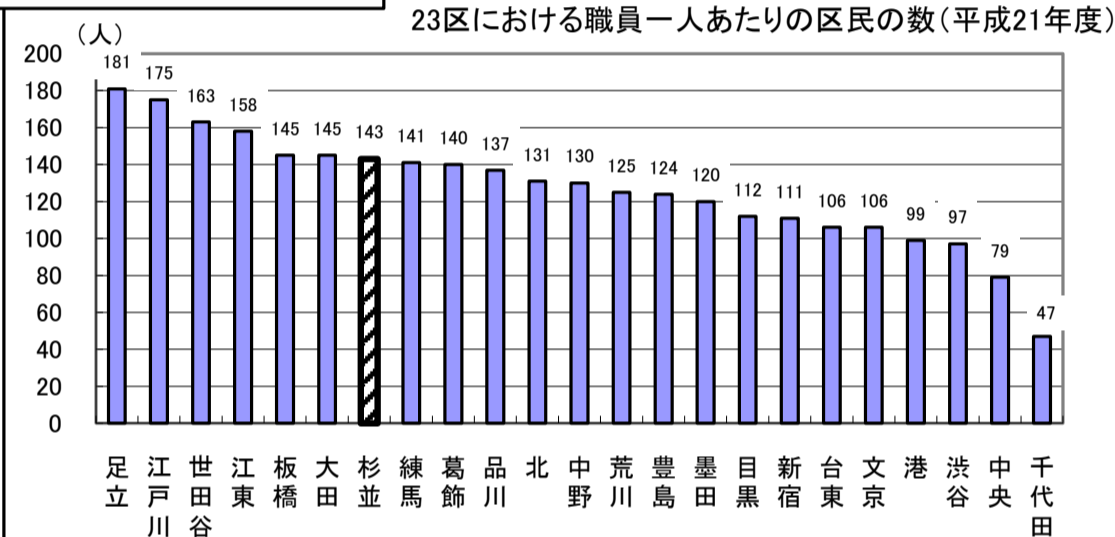
【22年4月1日に達成しました】



平成12年度に、清掃事業が都から移管されたため、職員数が増加しました。その後、「平成22年度までに1,000人削減する(平成12年度比)」目標の達成を目指して取り組んできました。その結果、平成22年度の職員数は3,701人となり、削減目標を達成しました。

今後も、事業の担い手としての「行政・民間」の役割を明確化し、区民・NPO・民間企業等との協働の推進など、簡素で効率的な区政運営の実現に向けた取組を進めていきます。

「職員一人あたりの区民の数」の23区平均は127人です。杉並区は現在7番目の143人です。



3 かかった

この施策にかかった平成21年度の経費は、人件費と事業費を合わせて、約9千万円でした。計画の策定や内部管理事務が主なため、人件費が約8割を占めています。

主な事業費として、行政評価に約157万円、民間事業化提案制度の実施に約217万円、「五つ星の区役所」づくりに約37万円となっています。

区民一人あたりの額

この事業 166円  
区全ての事業 40万5千円

4 事業

<平成21年度に実施した主な事業>

番号	事業名(活動指標)	数量	内容
1	全ての事業を対象に行政評価を実施しました	632事業	すべての事業を根本的に見直し無駄を省くとともに、限られた予算の効率的執行のための基礎資料とします。
2	杉並行政サービス民間事業化提案制度を実施しました	—	区の事業について企業やNPOから提案を募集し、これまでに11事業を採択しました。そのうち、平成21年度には2事業の委託・協働が実現し、委託・協働が実現した事業は7事業となりました。 その他の事業についても、実施に向けた準備を進めています。
3	「五つ星の区役所」づくりの見直しを図りました	—	「五つ星の区役所」づくりの新たな展開をめざして、「五つ星の区役所運動再構築検討チーム」がゼロベースで検討を行い、「期待を超える区役所」というコンセプトと具体的な改善を提案しました。

5 自己評価

<これまでの取組>

社会経済情勢の変化を受け、厳しい財政状況が続きましたが、行政サービスのさらなる充実を図りつつ、職員の削減や財政健全化に取り組んできました。その結果、スマートすぎなみ計画(行財政改革実施プラン)に基づく行財政改革の効果額は、平成12~20年度の累積で1,120億円を超えました。また、「五つ星の区役所」づくり運動の推進など、区民満足度のさらなる向上に努めました。

平成21年度から行政評価と決算を一体化し、区政経営における「計画→実施→検証→改善」のサイクルの実効性を高めるとともに、区民にとってわかりやすい情報提供を行っています。

<今後の方向性> 【サービス増】

今後10年間で展望した新しい杉並区のビジョンである新基本構想と総合計画を、広く区民の意見を反映して策定します。併せて、新たなビジョンを区民と築くために協働計画を策定します。

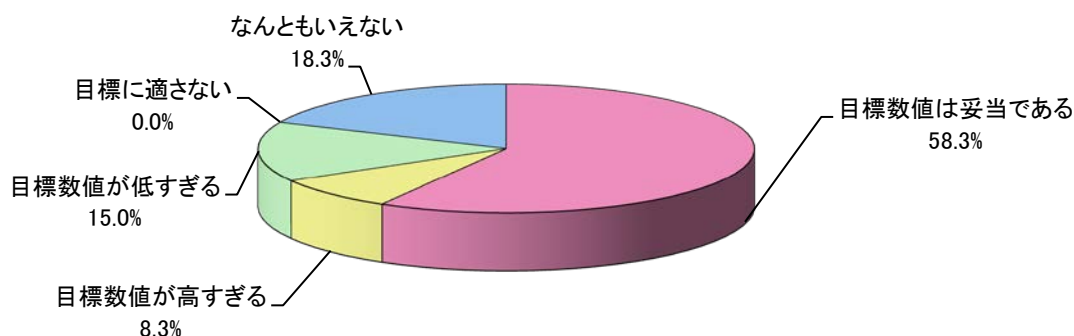
今後も区財政の厳しい状況が続く中、一層の行財政改革の推進と、より質の高い行政サービスの提供を目指します。

問34から問38は、資料6「創造的な政策形成と行政改革の推進」をご覧のうえ、お答えください。

設問34 「1.目標」について、どう思いますか。

N = 60

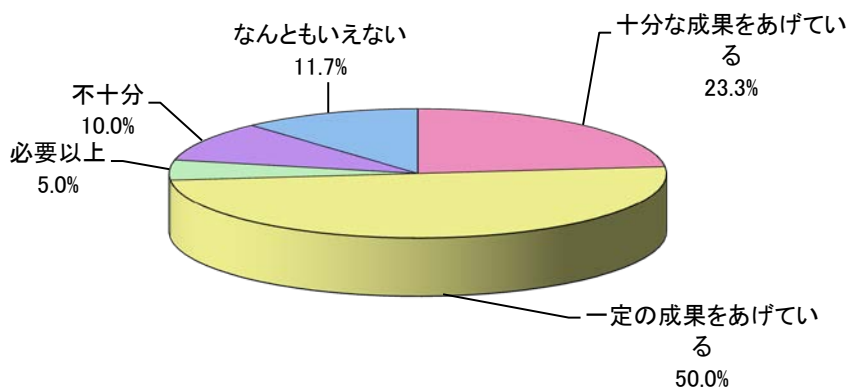
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	数	割合	男性	女性				
① 目標数値は妥当である	35	58.3%	男性	13		6	7	
			女性	22		16	6	
② 目標数値が高すぎる	5	8.3%	男性	5	1	3	1	
			女性	0				
③ 目標数値が低すぎる	9	15.0%	男性	3		2	1	
			女性	6	1	5		
④ 目標に適さない	0	0.0%	男性	0				
			女性	0				
⑤ なんともしえない	11	18.3%	男性	3		1	2	
			女性	8	1	5	2	



設問35 資料6の「2.成果」について、どう思いますか。

N = 60

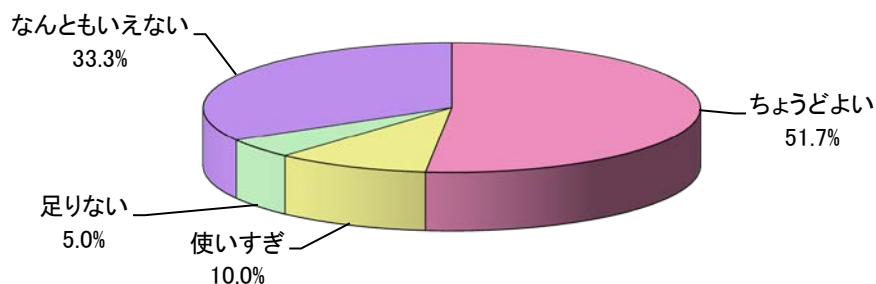
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	数	割合	男性	女性				
① 十分な成果をあげている	14	23.3%	男性	4	1	1	2	
			女性	10		8	2	
② 一定の成果をあげている (もう少し)	30	50.0%	男性	13		6	7	
			女性	17		12	5	
③ 必要以上(やりすぎ)	3	5.0%	男性	3		2	1	
			女性	0				
④ 不十分	6	10.0%	男性	2		2		
			女性	4		3	1	
⑤ なんともしえない	7	11.7%	男性	2		1	1	
			女性	5	2	3		



設問36 資料6の「3.かかった経費」について、どう思いますか。

N = 60

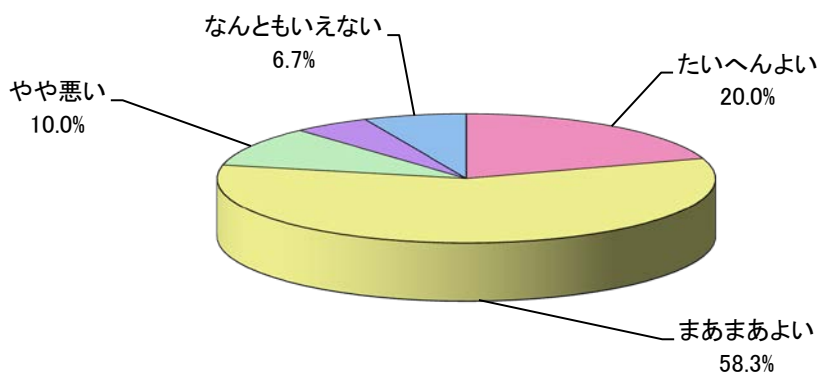
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① ちょうどよい	31	51.7%	男性	10		6	4	
			女性	21		16	5	
② 使いすぎ	6	10.0%	男性	2		2		
			女性	4		3	1	
③ 足りない	3	5.0%	男性	2		2		
			女性	1	1			
④ なんともいえない	20	33.3%	男性	10	1	2	7	
			女性	10	1	7	2	



設問37 区役所や区立施設での職員の対応について、どう思いますか。

N = 60

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① たいへんよい	12	20.0%	男性	7	1	3	3	
			女性	5	1	4		
② まあまあよい	35	58.3%	男性	10		4	6	
			女性	25	1	16	8	
③ やや悪い	6	10.0%	男性	3		3		
			女性	3		3		
④ たいへん悪い	3	5.0%	男性	1		1		
			女性	2		2		
⑤ なんともいえない	4	6.7%	男性	3		1	2	
			女性	1		1		



設問38 資料6の「5.自己評価」にある方向性について、どう思いますか。

N= 60

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① さらに事業を充実すべき	30	50.0%	男性	16		10	6	
			女性	14	1	9	4	
② これまでどおりの事業でよい	15	25.0%	男性	4	1	2	1	
			女性	11		7	4	
③ 事業を縮小すべき	1	1.7%	男性	0				
			女性	1		1		
④ なんともいえない	14	23.3%	男性	4			4	
			女性	10	1	9		

